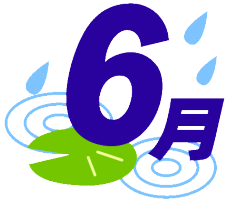




ひらどだい

令和3年度 学校だより 6月号 横浜市立平戸台小学校学校長 藤巻 孝之



うらはら

校長 藤巻 孝之

校長室の窓からいくつもの花壇が見えます。同時にその花壇を形作っているレンガの上を平均台のように歩いている子どもたちも見えます。アスレチックを楽しんでいるかのようにレンガの上を小走りで駆け抜けていく子もいます。花壇の周りには黒い金属製の柵があり、造形砂場や飼育小屋全体を囲んでいるのですが、その柵でさえ、子どもたちにとっては遊具になります。バランスを取ったり、乗り越えたり、飛び降りたり。子どもたちは自分たちで遊びを生み出し、遊びの中でさまざまな体の操作を覚え、必要な体力を養っていきます。一方で、レンガの上を走ってはいけません、柵の上ってはいけません、と安全指導が生じます。子どもたちの健康、安全、安心を超えるものではありませんから。

その日の日課を終え、子どもたちが下校していきます。友だちと今日の学校生活を振り返ったり、遊びの約束をしたりしながら、楽しそうに校門に向かっていきます。校門を過ぎると子どもたちは通学路を歩いて家に帰るのですが、ゆっくりゆっくり歩いている子がいます。時々立ち止まり、じっと何かを見つめています。下校中、子どもたちにはたくさんの情報、情景、出来事が飛び込んできます。その瞬間を子どもたちは放ってはおけないのです。帰り道で子どもたちは好奇心をはたらかせ、さまざまなものに興味を示し、楽しみや面白さを獲得していきます。一方で、道草を食ってはいけません、通学路を守ってまっすぐ帰りましょう、と安全指導が生じます。子どもたちの健康、安全、安心を超えるものではありませんから。

「やらせてあげたい、けれど、やらせてあげられない。」裏腹な思いが生まれることはよくあります。しかし、あきらめるのではなく、創意工夫をしながら子どもたちに豊かな経験の場を用意したいなと思います。体育では校庭の固定施設や体育館のマット、跳び箱、平均台を活用して体を巧みに操作する運動を行います。社会科や理科、生活科や総合的な学習の時間では教室を飛び出し、時には学校を飛び出してじっくりとまちや自然と触れ合います。普段の子どもたちの関心や生活行動を学習と結び付けることは効果的ですが、難しいことは抜きにしても、純粹に子どもたちが安全に楽しめる場をつくりたいものです。その場を整える大人も楽しくなります。裏腹な思いの先に、誰もが楽しめる出来事がきっと待っています。

【 お知らせ ～学校説明会と言いながら、動画も交えたスライドショーです！～ 】

6/5 (土) オープンスクールの4時間目は今年度の平戸台小学校の取組をスライドショーで紹介します。子どもたちの学校生活の様子を100枚の画像と10本の動画を交えて、20分程度でお伝えします。お誘いあわせの上、ぜひ体育館へお越しください。